

令和6年度 江戸川区立松江第五中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よく学び、深く考えた行動のとれる生徒の育成</li> <li>○心身ともに健康で、思いやりの心をもった生徒の育成</li> <li>○責任を重んじ、自主性に富んだ生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「互いのよさを認め合い誰もが輝ける学校 ～生徒も、教職員も保護者も地域も～」を築くことで、学校の教育目標を達成する。</li> <li>●「自ら考え、表現し、仲間とともに高め合える生徒、自ら課題を発見し、課題解決に向けて行動できる生徒、心と体の健康を大切に、たくましく成長しようとする生徒」を育て、学校の教育目標を達成する。</li> <li>●「人権尊重の精神に富む教師、生徒や保護者や同僚からも信頼される教師、魅力あふれる授業を実践する教師、特別支援教育の理解に基づいた生徒指導をする教師、特別支援教育の理解に基づいた生徒指導をする教師」を目指し、学校の教育目標を達成する。</li> </ul>
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生徒のよさを生かした様々な活動の工夫により、主体的に行動する生徒が増加</li> <li>・学力調査で数学、英語、国語が東京都の平均を少し上回った。</li> <li>・不登校生徒支援としての校内別室指導室（たちばなルーム）を開設し、推進できた。</li> </ul>	課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果から都・全国の平均を下回っており、計画的な取り組みが必要である。</li> <li>・特別な支援を要する生徒に対する指導体制として、外部機関との連携、そのあり方等、教職員の研修が急務である。</li> </ul>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌に区施策推進委員会（各学年2名）を立ち上げ業者による放課後補習教室を充実させる。</li> <li>・自宅や授業以外でのミライシート等電子ドリルの活用を「たちばなマインド証」への押印と紐付け、家庭学習への意欲向上を図る。</li> </ul>	全国学力・学習状況調査で東京都の平均を上回る。 生徒アンケート調査で「学校外でも主体的に学習している」肯定的回答を80%以上にする。	A	A	A	全国学力・学習状況調査で東京都の平均を上回ることができた。	A	今年はいよ結果であったという報告があり、すばらしい。	A	全国学力・学習状況調査で東京都の平均を上回ることができた。	A	全国学力・学習状況調査で東京都の平均を上回るなどよい結果がわかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区施策推進委員会を充実させ全校で推進していく。</li> <li>・自宅や授業以外での学習活動を「たちばなマインド証」への押印と紐付け、家庭学習への意欲向上を図る。</li> </ul>
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YOMUワークシートを毎週金曜日朝読書の時間に実施し、読解力の向上を図る。</li> </ul>	読解力の分析で東京都の平均を上回る。	B	B	B	毎週金曜日のおよむYOMUワークシートが定着し、ファイリングするなど、振り返りにも活用している。	B	新聞を活用することはとてもいいことだと思います。	B	毎週金曜日のおよむYOMUワークシートを活用し、振り返り活動ができた。	B	新聞を活用することはとてもいいことだと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YOMUワークシートを朝読書の時間に実施し、読解力の向上を継続して推進する。</li> </ul>
体力の向上	○園に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育科教員、養護教諭、栄養士が連携し、体力向上を目指した生徒への啓発活動を推進する。</li> </ul>	生徒アンケートで「健康管理や体力づくりに励んだ」の肯定的回答を70%以上にする。	B	B	B	保健体育科と養護教諭、そして栄養士が生徒会活動を動かし、生徒の体力向上への意欲向上に繋がった。	B	生徒が元気に学校生活をしている様子がよくわかります。	B	積極的な生徒会活動により、生徒の体力向上への意欲向上に繋がった。	B	生徒が元気に学校生活をしている様子がよくわかります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育科教員、養護教諭、栄養士が連携し、体力向上を目指した生徒への啓発活動を推進する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新体力テストで昨年度の記録を2段階UPさせよう大作戦」イベントを5月から全校で実施する。</li> </ul>	新体力テストで東京都の平均を上回る種目を8種目中4種目以上にする	B	B	B	測定方法を工夫し、記録向上にむけた指導を行うことができた。校内での結果集約では各種目の向上がみられた。	B	日頃から生徒・保護者に意識させることの大切さを感じます。	B	測定方法の工夫により、記録向上にむけた指導を行うことができた。測定結果では各種目の向上がみられた。	B	日頃から生徒・保護者に意識させることの大切さを感じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新体力テストで昨年度の記録を2段階UPさせよう大作戦」イベントを引き続き全校で実施する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たちばなマインド証」への押印と紐付けた生徒の体力向上実績に応じた表彰を実施する</li> </ul>	C/D層の割合を4割以下にする。	B	B	B	生徒の体力向上実績に応じた表彰を実施できていた。	B	今後も「たちばなマインド」につなげてください。	B	生徒の体力向上実績に応じた表彰を実施できた。	B	今後も「たちばなマインド」につなげてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たちばなマインド証」への押印と紐付けた生徒の体力向上実績に応じた表彰を実施する</li> </ul>
教育の推進 共生社会の実現に向けた	○唯一人取り残さない園に応じた指導の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内特別支援委員会を中心とした人材活用とその連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回、特別支援専門員、巡回指導員、SSW、SC養護教諭、コーディネーターとの打ち合わせを実施</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回木曜日に、特別支援専門員、巡回指導員、SSW、SC養護教諭、コーディネーターとの課題解決を図っている。</li> </ul>	A	情報交換を毎週実施しているということでも安心です。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援専門員、巡回指導員、SSW、SC養護教諭、コーディネーターとの連携により、課題発見・課題解決ができた。</li> </ul>	A	情報交換を毎週実施しているということでも安心です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内特別支援委員会を中心とした人材活用とその連携を図る。</li> </ul>
	○校内別室指導室（たちばなルーム）の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に入れない生徒の居場所「たちばなルーム」の保護者への理解啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページや学校だより等で活用方法について紹介する。</li> <li>・登校できていない生徒をゼロに近づける。</li> </ul>	B	B	B	支援員を平日は全日常駐させ、5名の生徒が利用できている。今後も継続していく。	B	校内別室対応とはいえ、その環境が驚くほど整美されており、生徒の安らぎの場となっていることを知り、安心しました。	B	支援員を平日は全日常駐させ、5名の生徒が利用できた。今後も継続していく。	B	校内別室対応とはいえ、その環境が驚くほど整美されており、生徒の安らぎの場となっていることを知り、安心しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に入れない生徒の居場所「たちばなルーム」の保護者への理解啓発を図る。</li> </ul>
	○副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期1回以上の実施する。</li> </ul>	B	B	B	お便りの交換等、定期的な情報交換を行い、可能な範囲で交流をしている。	B	復籍校とは学校だより等で定期的な交流していることがわかりました。	B	お便りの交換等、定期的な情報交換を行い、交流ができた。	B	復籍校とは学校だより等で定期的な交流していることがわかりました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施する。</li> </ul>
不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育に関する講演会を6月に実施し、法務省主催の全国中学生作文コンクールに全校で参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で人権作文に取り組み法務省に作品を提出する。</li> </ul>	A	A	A	予定通り7月に人権教育講演会を実施することができた。法務省の人権作文コンクールでは区代表生徒が2名選ばれた。	A	人権作文コンクールで最優秀賞に輝いた生徒があり、すばらしいと感じました。今後の活躍を期待します。	A	人権教育講演会を実施することができた。法務省の人権作文コンクールへの参加により学校表彰を受賞した。	A	人権作文コンクールで学校表彰を受賞しており、すばらしいと感じました。今後の活躍を期待します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育に関する講演会を6月に実施し、人権教育を充実させる。</li> </ul>
	○Hyper-QUの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QUテストの生徒の実態把握に基づいた指導の推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回校内でQU研修会を実施する。</li> </ul>	A	A	A	校内におけるQU研修会を実施し、現状把握と今後の対策について話し合いをもった。	A	QUテストの実施からの情報共有を今後も継続してください。	A	校内におけるQU研修会を実施し、現状把握と今後の対策について話し合いをもった。	A	QUテストの実施からの情報共有を今後も継続してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QUテストの生徒の実態把握に基づいた指導の推進する。</li> </ul>
	○教育相談の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、との連携強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校生徒とのSC、SSWとの連携率100%にする。</li> </ul>	A	B	A	日々の情報はファイリングされ、全教員で確認している。	B	毎週1回、委員会を時間割に組み込んで実施しているのでとても安心いたします。	B	校務PCによる情報共有により学校体制で教育相談を強化できた。	B	毎週1回、委員会を時間割に組み込んで実施しているのでとても安心いたします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、との連携強化する。</li> </ul>
学校（園）開かれた地域社会の実現	○学校ホームページの充実等○学校（園）公開の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援員を活用したHP更新の充実を図る。</li> <li>・学校公開の校内環境の工夫、改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPを毎日更新する。</li> <li>・常時、校内に作品を展示していつ来校しても観賞できるよう環境を整美する。</li> </ul>	A	A	A	毎日、学校日記を更新している。校内の掲示物や玄関のディスプレイを活用したスライド上映など充実した情報発信ができています。	A	毎日、ホームページを確認させていただいていますが、学校の様子がよくわかります。	A	毎日、学校日記を更新できた。校内の掲示物や玄関のディスプレイの活用等、積極的な情報発信ができてきた。	A	毎日、ホームページを確認させていただいていますが、学校の様子がよくわかります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援員を活用したHP更新の充実を図る。</li> <li>・学校公開時の校内環境の工夫、改善を図る。</li> </ul>
	○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、学校評議員、地域の方々からのアンケート調査を実施し、その結果から教育活動の工夫・改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織として改善を図る機会を7月と12月の2回設定する。</li> <li>・学校関係者評価の報告書をHPにて年に2度公表する。</li> </ul>	B	B	B	第1回の学校評議員会を7月に実施した。また、運動会や学校公開、学校行事もご参観いただき、ご意見をいただいている。	B	学校評議員会では授業観察や行事見学の気づいたことの報告ができた大変す湯実しいです。	B	学校行事の参観と共に各学期に学校評議員会を実施し、ご意見をいただけた。	B	学校評議員会では授業観察や行事見学の気づいたことの報告ができた大変す湯実しいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、学校評議員、地域の方々からのアンケート調査を実施し、その結果から教育活動の工夫・改善を図る。</li> </ul>
教育の特色ある展開	○誰もが輝ける特別活動の工夫と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「たちばなマインド証」の発行とその活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「たちばなマインド証」のシルバーカード取得率を年度末に全学年30%以上にする。</li> </ul>	A	A	A	生徒の「たちばなマインド証」のシルバーカード取得率を7月末時点で全学年40%を超えることができた。	A	たちばなマインド効果は顕著に表れており、今後も継続していただきたいです。	A	生徒の「たちばなマインド証」のシルバーカード取得率を3月末時点で全学年40%を超えることができた。	A	たちばなマインド効果は顕著に表れており、今後も継続していただきたいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「たちばなマインド証」の発行とその活用</li> </ul>
	○教育情報の積極的な発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりは毎月、学年だよりは毎週、学校HP毎日発信する。</li> <li>・連絡メールアプリの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の情報を掲載、提供し、アンケート結果で保護者満足度を85%以上にする。</li> <li>・保護者への情報提供100%</li> </ul>	B	B	B	学校だよりは毎月、学年だよりは毎週、学校HP毎日の発信ができています。	B	学校だより、学年だよりが定期的に発行され、HPからも配信されていてとてもいいです。	B	学校だよりは毎月、学年だよりは毎週、学校HP毎日の発信ができた。	B	学校だより、学年だよりが定期的に発行され、HPからも配信されていてとてもいいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりは毎月、学年だよりは毎週、学校HP毎日発信する。</li> <li>・連絡メールアプリの活用</li> </ul>
	○開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者の方からの表彰を受ける機会の設定</li> <li>※生徒、教職員、保護者が表彰対象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部から生徒や教職員、保護者を表彰していただくイベントを12月に設定する。</li> </ul>	B	B	B	地域や保護者の方からありがたい評価を多くいただけた。	B	地域が生徒や教職員に感謝をするイベントはとてもいい企画です。これからも続けてほしいです。	B	地域や保護者の方から肯定的な評価を多くいただけた。	B	地域が生徒や教職員に感謝をするイベントはとてもいい企画です。これからも続けてほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者の方からの表彰を受ける機会の設定</li> <li>※生徒、教職員、保護者が表彰対象</li> </ul>
	○デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA端末を活用した校内研修や生徒や保護者とのオンラインによる情報伝達の教科</li> <li>・保護者への連絡メールアプリを介した情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への重要伝達事項をTeams配信を活用して充実させる。</li> <li>・保護者アンケート調査は連絡メールをフル活用する。</li> </ul>	A	A	A	Teams配信の活用が充実している。保護者への連絡も継続して連絡メールを活用する。	A	生徒だけでなく、教職員が学習用端末や連絡メールを多く活用できています。	A	Teams配信の活用が充実した。保護者への連絡も継続して連絡メールを活用する。	A	生徒だけでなく、教職員が学習用端末や連絡メールを多く活用できています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA端末を活用した校内研修や生徒や保護者とのオンラインによる情報伝達の教科</li> <li>・保護者への連絡メールアプリを介した情報収集</li> </ul>